



才野病院の病室（個室）とトイレおよび洗面回り。外光とともに外気も通り、中間期には快適な環境となります。

今回の改修で広げられ、床の間も敷えられた井野病院の共用トイレ。カウンタートップ下のトイレレットペーパーを置く台のディテールまでデザインされています。



照明器具がスタンドグラスでおおわれた井野病院トイレ（上方）。また、廊下には絵画が描かれています。



改修後の共用トイレ回りの平面図

井野病院の病棟トイレ

隣接して老人保健施設をつくり、分散されたトイレの清潔と便利さを知り、それに比べ病院のトイレがあまりにも狭く冷たく汚いのには驚き、改装の相談を受けた。

事務局長のご注文は「癒しのトイレ」。使用しながらの改装と壁式ラメン構造のため、取り除けない壁に難航した。男女別はなくし、便房をプライバシーの守れる個室とし、車いす便所も居心地よくし、車いすの人でなくても使用できるようにすることで数は解決した。

トイレにも絵を掛けたい、床の間もあっては！ 香も焚きたい等々、こうして床の間風の棚と手洗い、中釘が打たれ、出入り口側には花釘もあり、花入れが掛かる。紙障子での半間接照明も不浄感のないトイレならOK。かねてより車いすトイレの無愛想さが気がかりであったが、「癒しの環境」にこだわり、乗ってくれたクライアントのおかげで実現した。

さらに便所や廊下に絵を描きたいとの希望があったが、患者にも好き嫌いがあるからと、廊下から階段に場所を変え、美大学生の協力を得て実現した。洋画と日本画グループのリレーで大壁画が完成。ついに外来パブリックトイレに及び、名所となっている。